

令和 8 年度第 2 回「ワンチームとやま」

連携推進本部会議次第

日 時：令和 8 年 8 月 28 日（金）

16 時 00 分～17 時 00 分

場 所：富山県防災危機管理センター

5 階大会議室（県側会場）

1 開 会

2 知事あいさつ

3 議 事

- ・大雨被害について（被害状況・対応の報告、意見交換）

（資料配布）連携推進項目及び報告事項

4 閉 会

配付資料

資料 1 大雨被害について（被害状況・対応の報告）

資料 2 令和 8 年連携推進 3 項目の進捗状況について

参考資料 1 未来へつなぐ行政サービスのあり方検討会について

参考資料 2 黒部宇奈月キャニオンルート的一般開放について

参考資料 3 台北便の定期便運航再開について

「ワンチームとやま」連携推進本部会議出席者

1. 市町村等（17名）

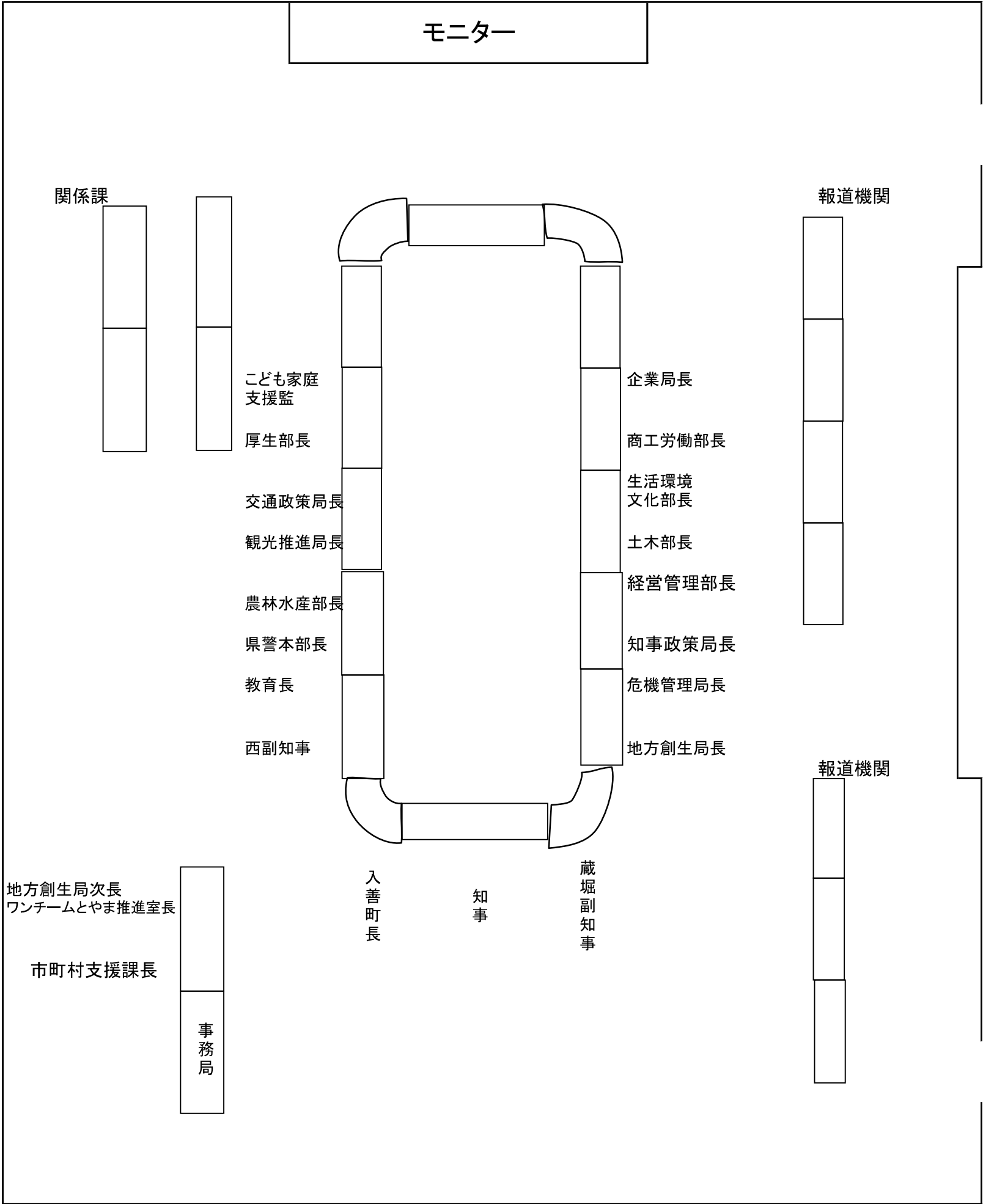
富山市長	藤井 裕久
高岡市長	出町 譲
射水市長	夏野 元志
魚津市長	村椿 晃
氷見市長	菊地 正寛
滑川市長	水野 達夫
黒部市長	上坂 展弘
砺波市長	夏野 修
小矢部市長	桜井 森夫
南砺市長	田中 幹夫
舟橋村長	渡辺 光
上市町長	中川 行孝
立山町長	舟橋 貴之
入善町長	笹島 春人
朝日町長	笹原 靖直
市長会事務局長	砂田 友和
町村会常務理事	齊木 志郎

2. 県（20名）

知事	新田 八朗
副知事	蔵堀 祐一
副知事	西 経子
教育長	廣島 伸一
県警本部長	崎山 慶
知事政策局長	川津 鉄三
危機管理局長	中林 昇
地方創生局長	塗師木 太一
観光推進局長	山下 章子
交通政策局長	田中 達也
経営管理部長	田中 雅敏
生活環境文化部長	杉田 聡
厚生部長	滑川 哲宏
こども家庭支援監	式庄 寿人
商工労働部長	小杉 健
農林水産部長	津田 康志
土木部長	川上 孝裕
企業局長	牧野 裕亮
次長・ワンチームとやま推進室長	板倉 由美子
市町村支援課長	横山 正行

令和8年度第2回「ワンチームとやま」連携推進本部会議 配席図

日時: 令和8年8月28日(金)16時～17時
場所: 富山県防災危機管理センター5階大会議室



第4回 富山県災害対策本部員会議

令和8年8月28日

16時00分

1 県等の対応状況

8月28日13時現在

(1) 県の対応状況

- 危機管理連絡課長会議の開催(8月26日 15時00分)
- 県・市町村・富山地方気象台によるホットラインの開設 (8月26日 16時00分頃)
- 県災害対策本部の設置 (8月27日 2時58分)**
 - 線状降水帯発生 (県西部) (2時58分) に係る自動設置**
線状降水帯発生 (県西部) (6時8分)
8月27日6時20分 氷見市にレベル5大雨特別警報発表
(16時20分 県内全域 レベル3大雨警報へ切り替え、レベル4土砂災害危険警報は継続)
8月28日3時14分 高岡市・射水市にレベル4大雨危険警報発表
4時50分 氷見市にレベル4大雨危険警報発表
5時15分 魚津市にレベル4大雨危険警報発表
(7時16分 上記4市のレベル4大雨危険警報をレベル3大雨警報に切り替え、
レベル4土砂災害 危険警報は継続)
- 県災害対策本部員会議の開催**
 - 第1回会議 (8月27日 9時00分)
 - 第2回会議 (8月27日16時30分)
 - 第3回会議 (8月28日10時00分)
 - 第4回会議 (8月28日16時00分)** ※第2回「ワンチームとやま連携推進会議」内で開催

1 県等の対応状況

8月28日13時現在

○災害救助法の適用及び県リエゾン派遣

- ・高岡市、氷見市、小矢部市、射水市の4市に対し、災害救助法を適用（8/27 9:00）
- ・高岡市へ3名（～8/28 12:00）、氷見市へ3名、小矢部市へ3名（～8/28 9:30）
射水市へ3名の県リエゾンを派遣

（2）市町村の対応状況

○災害対策本部設置市町村 8市2町

富山市（8/27 13:00→8/28 11:00廃止）、高岡市（8/27 2:58）、
氷見市（8/27 6:00）、滑川市（8/27 7:00→8/28 13:45廃止）、
砺波市（8/27 8:30→8/28 9:40廃止）
小矢部市（8/27 5:30→8/28 9:15廃止）
南砺市（8/27 7:00→8/28 9:20廃止）、
射水市（8/27 2:58）、上市町（8/27 7:45→8/28 9:30廃止）
立山町（8/27 7:30→8/28 8:30廃止）

○避難指示等発令市町村 7市1町（8/28 13:00時点）

高岡市、氷見市

○避難所の開設（8/28 13:00時点）

7市1町→2市（高岡市9避難所2人、氷見市7避難所91人）

2 被害等の状況

8月28日13時現在

○孤立集落の状況 6地区（安否確認済）

市町村	地 区	復旧目途	世帯数・人数
氷見市	①熊無 ②床鍋 ③吉滝 ④味川 ⑤吉池 ⑥老谷	関係者と協議中	① 7 世帯 22名 ② 16世帯 29名 ③ 3 世帯 7 名 ④ 10世帯 18名 ⑤ 3 世帯 12名 ⑥ 9 世帯 20名

○住家等の被害状況

住家被害 591棟

高岡市 床上浸水 3 棟、床下浸水66棟

氷見市 全壊 1 棟、中規模半壊 3 棟、床上浸水166棟、床下浸水351棟

立山町 床下浸水 1 棟

非住家被害 10棟

高岡市 9 棟

入善町 1 棟（公共建物） ※小学校屋根瓦破損（落雷）

県内の公共交通機関等の状況

8月28日12時現在

1 鉄軌道

路 線		状 況
あいの風とやま鉄道		運休なし
富山地方鉄道	鉄道	運休なし
	軌道	運休なし
万葉線		運休なし
JR西日本	北陸新幹線	運休なし
	高山本線	始発から17時頃まで運転取り止め（猪谷～富山駅間） 特急ひだは全ての列車の運転取り止め
	城端線	始発から16時頃まで運転取り止め
	氷見線	始発から終日運転取り止め

県内の公共交通機関等の状況

8月28日12時現在

2 路線バス

	状 況
富山地方鉄道	運休なし
加越能バス	高岡駅から氷見市内に向かう路線 2 路線が運休 (伏木経由氷見線、仏生寺経由氷見線)

3 高速バス

	状 況
富山地方鉄道	運休なし
加越能バス	運休なし

4 富山空港

	状 況
富山空港	被害なし
運行状況	8/27 欠航なし 8/28 欠航なし

県の対応状況【商工労働部】

8月28日12時現在

月日曜	時 間	対 応
8月28日(金)	13:00	中小企業者向けの相談窓口を設置、被災事業者への融資制度「災害対応資金」を案内

8月28日12時00分現在

区 分	発生日	施設名	被害状況及び対応
農業用施設	8/27	ため池	氷見市のため池 4 箇所 で法面崩壊、1 箇所決壊 ・富山県土地改良事業団体連合会の協力を得て調査中
農業用施設	8/27	十二町潟排水機場	8月27日 05時57分 氷見市土地改良区から、水槽があふれるまで50cm程度、排水が追い付かない、電気室に水が入りそうな状況と連絡（10時30分 電気室は持ちこたえたと報告） 06時10分 県から北陸農政局に対し、排水ポンプ車の出動を要請 06時55分 氷見市土地改良区から北陸農政局へ、氷見市から北陸地方整備局へ、排水ポンプ車の出動を要請 09時16分 富山河川国道事務所の排水ポンプ車が到着、ポンプを設置して運転 10時36分 北陸農政局の排水ポンプ車が到着、ポンプを設置して運転 15時00分 関係機関（県、氷見市土改、農政局、国交省）との連絡調整会議を実施 19時30分 電気室の浸水対策として土のうを設置完了 8月28日 【現在】 ・計18台のポンプで90m³/分の強制排水を継続中 ・北陸農政局からのリエゾンとして氷見市に2名、追加で県庁に1名派遣 09時00分 関係機関との連絡調整会議（2回目）
農業用施設	8/27	農地	黒部市で畦畔崩れ 4 箇所 滑川市で畦畔崩れ 1 箇所

農林水産被害の状況 【農林水産部】森林政策課

8月28日12時00分現在

区 分	発 生 日	施設及び 路線名	市町村名	場 所	被害状況・規模	被害額（千 円）	対応状況
治山	8/27	林地荒廃	氷見市	阿尾 島尾 地内	人家倒壊・山腹崩壊	調査中	確認中
治山	8/27	林地荒廃	氷見市	余川ほか27箇所	調査中	調査中	確認中
治山	8/27	林地荒廃	魚津市	布施爪 地内	山腹崩壊	10,000	確認中
治山	8/28	林地荒廃	魚津市	布施爪 地内	山腹崩壊	15,000	確認中
林道	8/27	真川線	富山市	真川 谷割 地内	土砂流入	300	土砂撤去完了
林道	8/27	小口川線	富山市		調査中	調査中	確認中
作業道							
林構施設・その他林業・木材産業関連施設				調査中			

農林水産被害の状況【農林水産部】

農業関係

8月28日12時00分現在

区 分	市町村		状況
農業施設	氷見市		農業施設への浸水、水田への土砂流入や冠水被害等を確認 (詳細は調査中)
農作物	県内全域	水稲	倒伏
農作物	富山市	水稲 0.53ha	冠水被害
農作物	高岡市	水稲	法面崩れ
農作物	富山市	にんじん1.2ha	冠水被害
畜産施設	氷見市	1 棟	停電、断水

水産関係施設

8月28日12時00分現在

区 分			状況	
水産	8/27	漁港、漁船、漁具	調査中	

農林水産部出先機関の状況

8月28日12時00分現在

施設名	発生日	被害状況
県花総合センター (砺波市)	8/27	・催し広場の冠水、落雷の影響による停電が発生したが、現在は通常稼働
栽培漁業センター (氷見市)	8/27	・センターへのアクセス道路、駐車場、施設近辺で土砂崩れ発生 ・一部の施設で濁水の浸水を確認
農林水産総合技術セン ター水産研究所 (滑川市)	8/27	8月27日7時30分頃に落雷あり。魚介類飼育用の取水・送水・揚水ポンプおよび配電設備に被害が発生

学校等の状況①【教育委員会】

8月28日12時現在

区 分	状 況
県立学校 (全52校)	・雨漏り（教室、渡り廊下、階段天井など）：6校 滑川、志貴野、しらとり支援、高岡支援、高岡高等支援、となみ総合支援 ・落雷の影響による火災通報装置などの異常：6校 桜井、魚津工業、新湊、砺波工業、南砺福野、南砺平

公共土木施設の被害状況【土木部】

赤字箇所：前回8月28日7時からの追加・解消

8月28日12時現在

被災施設		被災状況	現在の対応状況
上庄川	氷見市見内	護岸欠損 1箇所（被災延長L = 15m）	応急対策を検討中
余川川	氷見市余川	河道閉塞 1箇所、護岸欠損 1箇所（被災延長L = 20m）	応急対策を検討中
宇波川	氷見市宇波	護岸欠損 1箇所（被災延長L = 20m）	応急対策を検討中
矢波川	小矢部市矢波	護岸欠損 1箇所（被災延長L = 20m）	応急対策を検討中
泉川	氷見市島尾	護岸欠損 1箇所（被災延長L = 20m）	応急対策を検討中
(主)万尾 脇方線	氷見市味川	道路損壊 1箇所（被災延長L = 約50m）	全面通行止、対策を検討中

道路通行規制状況（高速・国道・県道）【土木部】

8月28日12時現在

道 路		状 況
国道	415号（高岡市太田）	土砂流入により全面通行止め
	415号（氷見市谷屋～熊無）	倒木により全面通行止め
	471号（砺波市庄川町湯谷～南砺市利賀村北豆谷）	雨量規制により全面通行止め
	471号（富山市八尾町杉ヶ平～岐阜県境）	雨量規制により全面通行止め

道路通行規制状況（高速・国道・県道）【土木部】

8月28日12時現在

道 路		状 況
県道	(主)氷見惣領志雄線（氷見市万尾）	路面冠水により全面通行止め
	(主)万尾脇方線（氷見市中谷内）	路面冠水により全面通行止め
	(主)万尾脇方線（氷見市味川）	土砂流入により全面通行止め
	(主)高岡羽咋線（高岡市西広谷～氷見市吉池）	雨量規制により全面通行止め
	(主)高岡羽咋線（氷見市岩瀬）	土砂流入により全面通行止め
	(主)高岡羽咋線（氷見市坪池）	土砂流入により全面通行止め
	(主)高岡羽咋線（氷見市鞍骨）	土砂流入により全面通行止め
	(主)上市北馬場線（上市町釈泉寺～折戸）	雨量規制により全面通行止め
	立山有料道路（立山町桂台～美女平）	落石により全面通行止め

道路通行規制状況（高速・国道・県道）【土木部】

8月28日12時現在

道 路		状 況
県道	(主)金沢湯涌福光線（南砺市立野脇～刀利）	雨量規制により全面通行止め
	(主)福光上平線（南砺市刀利～中河内）	雨量規制により全面通行止め
	(主)菟輪滑川インター線（滑川市箕輪～大日）	雨量規制により全面通行止め
	(主)氷見田鶴浜線（氷見市磯辺～小滝）	雨量規制により全面通行止め
	(主)氷見田鶴浜線（氷見市磯辺）	土砂流入により全面通行止め
	(主)高岡氷見線（氷見市仏生寺）	土砂流入により全面通行止め
	(主)高岡氷見線（氷見市棚懸）	土砂流入により全面通行止め
	(主)宇奈月大沢野線（魚津市大谷～坪野）	土砂流入により全面通行止め

道路通行規制状況（高速・国道・県道）【土木部】

8月28日12時現在

道 路		状 況
県道	(一)五十里氷見線（氷見市大浦）	路面冠水により全面通行止め
	(一)藪田下田子線（氷見市上泉）	路面冠水により全面通行止め
	(一)藪田下田子線（氷見市柳田～上泉）	路面冠水により全面通行止め
	(一)弘法称名立山停車場線（立山町桂台～称名）	雨量規制により全面通行止め
	(一)高岡青井谷線（射水市青井谷）	路面冠水により全面通行止め
	(一)剣岳公園線（上市町馬場島～伊折）	雨量規制により全面通行止め
	(一)古鹿熊滑川線（魚津市鹿熊～古鹿熊）	雨量規制により全面通行止め
	(一)氷見志雄線（氷見市小久米～三尾）	倒木により全面通行止め
	(一)魚津停車場線（魚津市駅前新町～緑町）	路面冠水により全面通行止め

道路通行規制状況（高速・国道・県道）【土木部】

8月28日12時現在

道 路		状 況
県道	(一)平阿尾線（氷見市吉岡）	土砂流入により全面通行止め
	(一)町山河原線（氷見市角間）	土砂流入により全面通行止め
	(一)平阿尾線（氷見市北八代）	土砂流入により全面通行止め
	(一)鹿西氷見線（氷見市寺尾）	倒木により全面通行止め
	(一)鹿西氷見線（氷見市寺尾）	土砂流入により全面通行止め
	(一)鹿西氷見線（氷見市上余川）	土砂流入により全面通行止め
	(一)氷見志雄線（氷見市日名田）	土砂流入により全面通行止め
	(一)氷見志雄線（氷見市三尾地内）	土砂流入により全面通行止め
	(一)桑院赤毛線（氷見市桑院）	土砂流入により全面通行止め
	(一)荒屋敷月岡線（富山市下瀬戸～小坂）	雨量規制により全面通行止め

道路通行規制状況（高速・国道・県道）【土木部】

○通行止め解除

8月28日12時現在

道 路		状 況
高速道路	北陸自動車道（砺波IC～小杉IC）	28日6時00分に通行規制解除
国道	8号（小矢部市安楽寺～石川県境）	28日6時20分に通行規制解除
	156号（砺波市庄川町小牧～南砺市大崩島）	27日21時30分に通行規制解除
	415号（氷見市泉）	28日0時00分に通行規制解除
	304号（南砺市大鋸屋）	27日17時00分に通行規制解除
	能越自動車道（七尾大泊～氷見）	27日20時30分に通行規制解除
	160号（氷見市中波～菟田）	28日9時00分に通行規制解除
	160号（氷見市上泉南～窪）	28日9時00分に通行規制解除

道路通行規制状況（高速・国道・県道）【土木部】

○通行止め解除

8月28日12時現在

道 路		状 況
県道	(主)砺波小矢部線（小矢部市南谷～安楽寺西）	28日7時00分に通行規制解除
	(主)高岡羽咋線（氷見市棚懸）	28日0時00分に通行規制解除
	(主)朝日宇奈月線（黒部市宇奈月町音沢）	28日9時10分に通行規制解除
	(主)富山庄川線（富山市山田中村～山田数納）	28日 9時00分に通行規制解除
	(主)宇奈月大沢野線（富山市一ノ瀬～火土呂）	28日 9時00分に通行規制解除
	(一)松木鷲塚線（射水市布目）	27日16時40分に通行規制解除
	(一)八町大門線（射水市布目）	27日16時40分に通行規制解除
	(一)井栗谷大門線（砺波市井栗谷～東別所）	28日9時00分に通行規制解除
	(一)川内五郎線（砺波市川内～寺尾）	28日9時00分に通行規制解除
	(一)河内花崎線（富山市文殊寺～小坂）	28日9時00分に通行規制解除
	(一)東猪谷富山線（富山市芦生～寺津）	28日9時00分に通行規制解除

河川の溢水・浸水被害状況【土木部】

8月28日12時現在

河川名	場所	状 況
泉川	氷見市上泉	溢水、浸水箇所調査中
脇之谷内川	氷見市仏生寺	溢水、浸水箇所調査中
堀田川	氷見市大浦	溢水、浸水箇所調査中
上庄川	氷見市泉ほか	溢水、浸水箇所調査中
阿尾川	氷見市指崎	溢水、浸水箇所調査中
宇波川	氷見市宇波	溢水、浸水箇所調査中
余川川	氷見市余川	溢水、浸水箇所調査中
万尾川	氷見市万尾	溢水、浸水箇所調査中
桑院川	氷見市触坂	溢水、浸水箇所調査中

以下、解消済箇所

河川名	場所	状 況
黒石川	高岡市福岡町荒屋敷～小矢部市岡	溢水、田が浸水・解消済
祖父川	高岡市早川	溢水、田が浸水・解消済 (逆流防止水門閉鎖・高岡市排水ポンプ作業完了)
礪川	富山市婦中町袋	溢水、田が浸水・解消済

土砂災害の発生状況【土木部】

8月28日12時現在

箇所名	現象	被害状況	現在の対応状況
高岡市太田地内	土砂流出	住家被害なし、人的被害なし	道路管理者にて対応予定
氷見市日名田地内	斜面崩壊	住家被害あり、人的被害なし	調査中
氷見市中谷内地内	斜面崩壊	住家被害あり、人的被害なし	調査中
氷見市藪田地内	斜面崩壊	人的被害なし	調査中
氷見市阿尾地内	斜面崩壊	住家被害あり、人的被害なし	調査中
氷見市余川地内	斜面崩壊	調査中	調査中
氷見市角間地内	斜面崩壊	人的被害なし	調査中
氷見市園地内	斜面崩壊	人的被害なし	調査中
氷見市白川地内	斜面崩壊	人的被害なし	調査中
氷見市長坂地内	斜面崩壊	住家被害あり、人的被害なし	調査中

都市浸水被害の状況（アンダーパス等）【土木部】

8月28日12時現在

場所	被害状況		現在の対応状況
	地下施設 浸水被害	人的被害	
高岡市内	アンダーパス7箇所 (全て市管理)	なし	
射水市内	アンダーパス7箇所 (内2箇所解除) (全て市管理)	なし	
氷見市内	アンダーパス 複数箇所 (全て市管理)	調査中	

その他の被害等の状況【土木部】

8月28日12時現在

・能登半島地震の被害を受けた箇所の状況

①液状化被害箇所

氷見市	間島・栄町	浸水被害あり、実証実験への影響は現時点では不明
	北大町	浸水被害あり
	中央町・比美町	浸水被害なし
高岡市	伏木	浸水被害あり
	吉久、横田	浸水被害なし
射水市		浸水被害なし
富山市		浸水被害なし
滑川市		浸水被害なし

②公共土木施設の被害箇所

氷見市 上庄川 被災箇所4箇所のうち2箇所で溢水被害
堤防等の被害状況は調査中

気象情報の時系列【危機管理局】

8月27日 7時現在

月日曜	時 間	対 応
8月26日	22 : 30	レベル3 大雨警報発表（富山市平地、高岡市、氷見市、射水市）
	22 : 47	レベル4 大雨危険警報発表（高岡市）
	23 : 09	レベル3 大雨警報発表（滑川市、黒部市）
8月27日	00 : 30	レベル4 土砂災害危険警報発表（氷見市） レベル3 大雨警報発表（魚津市）
	00 : 56	レベル4 土砂災害危険警報発表（高岡市、射水市） レベル4 大雨危険警報発表（射水市）
	1 : 22	レベル4 大雨危険警報発表（氷見市）
	1 : 22	レベル4 大雨危険警報発表（氷見市）
	2 : 05	レベル3 土砂災害警報発表（魚津市、黒部市）
	2 : 58	線状降水帯発生（県西部）
	2 : 58	災害対策本部設置
	3 : 07	レベル4 土砂災害危険警報発表（魚津市・黒部市・入善町・朝日町・立山町） レベル4 大雨危険警報発表（黒部市・入善町） レベル3 大雨警報発表（朝日町）

8月28日 7時現在

月日曜	時 間	対 応
8月27日	3 : 29	レベル4 土砂災害危険警報発表（富山市平地） レベル4 大雨危険警報発表（富山市平地） レベル3 大雨警報発表（砺波市・小矢部市）
	3 : 47	レベル4 土砂災害危険警報発表（小矢部市）
	4 : 04	レベル3 大雨警報発表（富山市山間部東・上市町）
	4 : 29	レベル4 大雨危険警報発表（朝日町）
	5 : 11	レベル4 大雨危険警報発表（滑川市）
	6 : 07	レベル3 土砂災害警報発表（富山市山間部西、砺波市、南砺市）
	6 : 07	レベル4 土砂災害危険警報発表（上市町）
	6 : 07	レベル3 大雨警報発表（舟橋村）
	6 : 20	レベル5 大雨特別警報発表（氷見市）
	6 : 28	レベル4 大雨危険警報発表（小矢部市、上市町）
	6 : 28	レベル3 土砂災害警報発表（富山市山間部東）
	7 : 00	レベル4 大雨危険警報発表（砺波市） レベル4 土砂災害危険警報発表（富山市山間部西、砺波市、南砺市）
	7 : 25	レベル3 氾濫警報発表（小矢部川：高岡市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市）

8月28日 7時現在

月日曜	時 間	対 応
8月27日	9:00	災害救助法適用（高岡市、氷見市、小矢部市、射水市）
	15 : 20	レベル3 氾濫警報解除、レベル2 氾濫注意報に切替え（小矢部川：高岡市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市）
	16 : 20	レベル5 大雨特別警報解除、レベル4 大雨危険警報解除 レベル3 大雨警報に切替え（県内全域） レベル4 土砂災害危険警報は継続
8月28日	3 : 14	レベル4 大雨危険警報発表（高岡市・射水市）
	4 : 50	レベル4 大雨危険警報発表（氷見市）
	5 : 11	レベル4 大雨危険警報発表（魚津市）
	7 : 16	レベル4 大雨危険警報解除、レベル3 大雨警報に切り替え（高岡市・魚津市・氷見市・射水市）
	9 : 11	県内全域レベル3 大雨警報解除、レベル2 大雨注意報に切り替え レベル4 土砂災害危険警報解除、レベル2 土砂災害注意報に切り替え（富山市平地、富山市山間部東、富山市山間部西、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、上市町、立山町、朝日町） →レベル4 土砂災害危険警報継続（高岡市、氷見市、魚津市、黒部市）

国等関係機関の対応状況【危機管理局】

8月28日13時現在

○国等の動き

- ・ 8月27日 6 : 20 官邸連絡室 設置
- 6 : 20 消防庁災害対策本部 （第2次応急体制） 設置

○防災関係機関からのリエゾン派遣状況

内閣府防災、総務省北陸総合通信局、北陸地方整備局富山河川国道事務所
富山地方気象台、長野県（中部9県1市広域災害時等応援連絡協議会）

北陸電力、北陸電力送配電
NTT西日本、docomo、KDDI、ソフトバンク

自衛隊富山地方協力本部、自衛隊第14普通科連隊
伏木海上保安部
県警察本部、防災航空センター

○その他

DMAT： 待機基準（特別警報の発出）に従い、本県を含め中部ブロックの
医療機関が派遣に備え、待機中

連携事項名 鳥獣被害対策

県担当課：自然保護課

◎ R8年度の取組み事項

● ゾーニング設定

- ・次期クマ管理計画等の策定作業に合わせて、「排除エリア」や「管理強化エリア」など、新たな4区分のゾーニングを行う。

【新たなゾーニング区分：コア生息地、緩衝地帯、管理強化エリア、排除エリア】

- ・現在の3つのゾーン区分（生息保護地域、保護調整区域、被害防止地域）をベースに、①県が新たなゾーニング案を作成し、②市町村や専門家の意見も踏まえてゾーニング設定を行う。

● 誘引物の除去

- ・上智大学から提供される、今年度の堅果類の豊凶状況を踏まえた「クマ遭遇AI予測マップ」を積極的に活用することにより、出没リスクが高い地域における柿の木等の誘引物除去の意識醸成を図る。

- ・市町村においても、地域における誘引物除去の経費補助等の広報周知を図るとともに、市町村によりばらつきのある補助額のあり方についても、地域の実情に応じた望ましいあり方を検討する。

● クマの捕獲等の手当に関するあり方の検討

- ・市町村ごとのパトロール手当や捕獲報奨金など、捕獲に伴う手当等の状況を共有するとともに、望ましいあり方を検討する。
- ・特に、緊急銃猟については、ハンターの物理的危険性や心理的負担が大きいことから、新たな手当の設定について検討する。

● 捕獲の担い手の確保・養成

- ・新人ハンター養成事業の開始に伴い、県と市町村が連携して、事業内容の積極的な周知に努め、将来的に有害鳥獣捕獲活動に従事してもらう担い手の確保・養成を図る。

- ・農林業など関係団体に対して、県や市町村が連携して人材確保の働きかけを実施する。

◎ R8年度の取り組みの進捗状況

項 目	進 捗	評 価	今後の取り組み等
ゾーニング設定	・国のガイドラインで示された新たなゾーニングの考え方や設定方法について共有し、意見交換を行った。	概ね順調	・県が新たな4区分のゾーニング案を作成(12月頃) ・市町村や専門家の意見も踏まえてゾーニング案修正(1月～) ・次期管理計画の策定と合わせ、ゾーニング最終案を作成
誘引物の除去	・各市町の放任果樹伐採の補助内容、好事例(砺波市)を紹介し、意見交換を行った。 ・クマの出没が少ない地域においては、クマ対策への理解が十分ではなく、伐採が進まないことが課題であるなど実情を共有した。	概ね順調	・上智大学から提供される、今年度の堅果類の豊凶状況を踏まえた「クマ遭遇AI予測マップ」(9月上旬頃公表予定)を積極的に活用し、特に、被害リスクが高く、かつ放任果樹の伐採が進まない地域に対して、伐採の意識醸成を図る。 ・市町村によりばらつきのある補助額についても、必要に応じて、地域の実情に応じた望ましいあり方を検討する。
クマ捕獲等の手当に関するあり方の検討	・緊急銃猟については、捕獲の現場の危険性等を踏まえた新たな手当の設定について意見交換を行った。 ・各市町村の手当・報奨金の状況及び近隣県の事例を整理して共有	概ね順調	・緊急銃猟に係る新たな手当について、前向きな意見があったことを踏まえ、手当の設定について検討を行う。 ・富山市の緊急銃猟の手当(75,000円/回)も参考に、他県の導入事例や今後の予定について追加調査を行い、ハンターの物理的危険性や心理的負担も踏まえた適切な金額設定の検討を行う。
捕獲の担い手の確保・養成	・新人ハンター養成事業(R8県新規事業)の開始にあわせ、事業内容(銃猟購入費等の補助、新人ハンター研修会の開催)を共有 ・県・市町村が連携して関係団体(農業・林業団体、経済団体等)へ事業の周知を行い、担い手確保・養成に向けた取組みを実施することを確認	概ね順調	・新人ハンター養成事業の開始に伴い、県及び市町村が連携し、農業団体、林業団体、商工団体等に対して事業周知及び人材確保への協力依頼を行っていく。 ・県、市町村で事業の積極的周知を行い、銃所持による捕獲の担い手の確保、研修会を通じた捕獲技術のレベルアップを図り、将来的な有害鳥獣捕獲活動の担い手確保・養成を図る。

連携事項名 人口減少対応(移住定住施策、関係人口の拡大・深化)

県担当課:企画室(成長戦略課)

ワンチームとやま推進室(中山間地域支援・移住促進課)

◎ R8年度の取組み事項

●移住希望者と地域の効果的なマッチング

- ・とやまマッチングセミナーを通じた連携

●地域おこし協力隊の受入・連携促進

- ・県内の地域おこし協力隊員が連携した取組みの促進及び隊員の定住支援

●ふるさと住民登録制度を見据えた連携事項の確認

- ・ふるさと住民登録制度開始に向けた県・市町村の取組みの共有、県と市町村の役割分担の検討、プレミアム登録に係る要件(担い手活動等)整理、サポート施策の検討

●関係人口・移住検討者等呼び込むための事業の実施

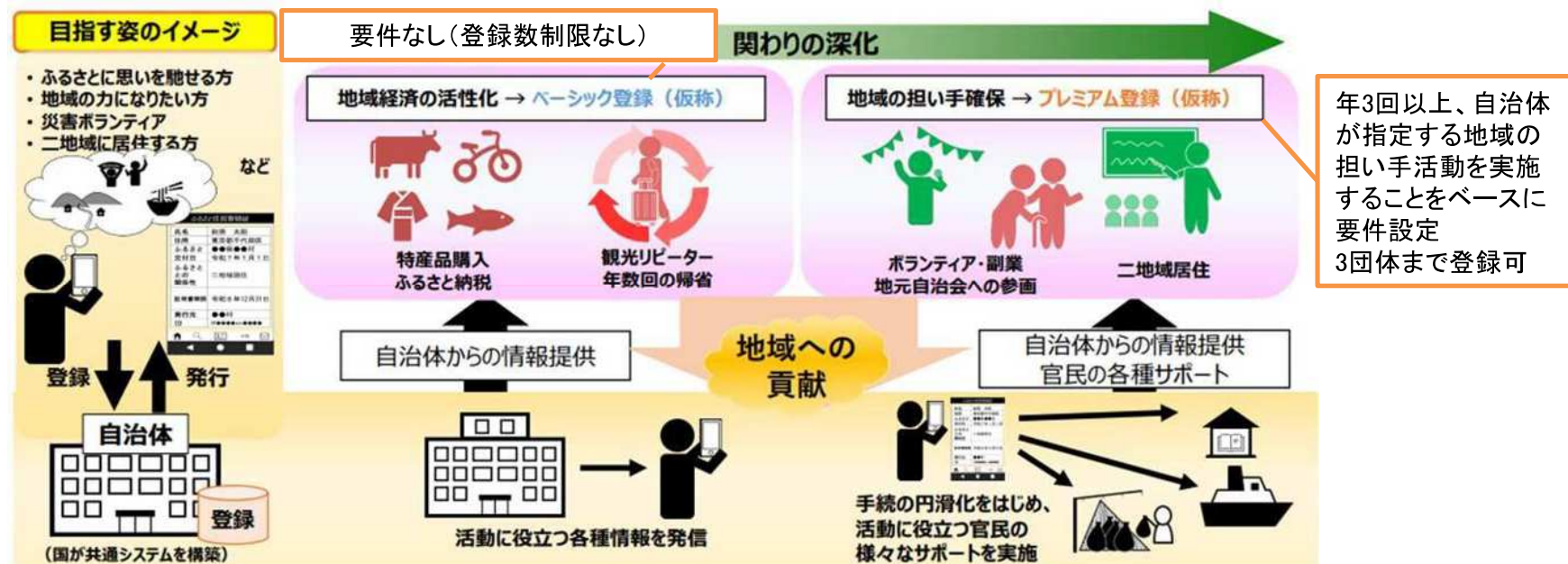
- ・首都圏在住者や県外企業の企業研修参加者が、県内の地域課題解決に關与するプロジェクトを実施(モデル事業)
- ・移住検討者等が地域と深く関わることのできる地域交流プログラムを実施
- ・将来的な移住に向けての支援制度のあり方検討

●地域における受入体制の整備

- ・受入地域を対象とした研修会の開催や、先進的に取り組む地域によるノウハウ共有

●情報発信の促進

- ・地方と関わりを持ちたい都市部在住者や移住検討者等に向けて「富山で地域の担い手になる」、「富山で暮らす」魅力を県や市町村の既存の取組みと連携した効果的なプロモーションの実施(北陸3県連携イベントや富山くらし・しごとフェア等によるPR、研修会の開催等)



◎ R8年度の取り組みの進捗状況

項目	進捗	評価	今後の取り組み等
① 移住希望者と地域の効果的なマッチング	移住検討者向けオンラインセミナー「本音で語る、とやま移住のウラ・オモテ」の開催(第1回～第4回) 各回2市町村が登壇し、市町村の魅力紹介及び各回のテーマに応じたゲストを市町村と連携し選定(①89名、②60名、③55名、④81名)	概ね順調	・引き続き、移住検討者が具体的な移住をイメージできるよう、市町村と連携してセミナーを実施
② 地域おこし協力隊の受入・連携促進	富山県地域おこし協力隊オンラインコミュニティの設置 県内の隊員同士の情報交換や活動連携を促進するため、チャットツールを用いたコミュニティを設置(6/15～本格運用開始) 地域おこし協力隊員向けサポート事業の実施 隊員の活動の質の向上や地域への定着を促進するため、研修会(6/15活動計画作成研修)を開催	概ね順調	・市町村等と連携し、より多くの隊員に参加を呼びかけ、隊員同士の連携を促進 ・10月下旬 現地視察研修会 ・11/29 活動報告会
③ ふるさと住民登録制度を見据えた連携事項の確認	ふるさと住民登録制度の令和9年度本格実施に向けて 令和9年度本格実施に向けた取り組みの方向性を共有し、意見交換を実施	概ね順調	・引き続き、意見交換を行うとともに、県の取組や、国の進捗状況について情報共有
④ 関係人口・移住検討者等と呼び込むための事業の実施	関係人口による地域活性化モデル事業(県事業) ・参加希望のあった市町村と連携して受入地域に対するヒアリングを行い(5月～7月)、県内10地域でプロジェクトを企画 ・県外在住者を対象にプロジェクトへの参加募集(6/19～8/11) ・参加希望者に向けプロジェクトへの理解を深めてもらう事前説明会(7/29)を開催 「地域とつながる」富山暮らし体験事業 移住検討者等を対象に、2週間、本県での暮らしや地域との交流等を体感するプログラムを射水市と上市町で実施。(8月下旬から受入開始) 移住支援金制度の拡充を含む支援制度のあり方を検討	概ね順調	・9月 地域と関係人口のマッチング及びキックオフ(オンライン) ・9月～12月 現地でプロジェクトを実施 ・2月 報告会を開催 ・受入れの成果やノウハウを取りまとめ、他地域での横展開を検討 ・関係人口から移住へ結びつける流れを構築するための支援制度創設を検討
⑤ 地域における受入体制の整備	関係人口の受入れノウハウや先進事例を学ぶ勉強会の開催 ・自治体向け総務省現地説明会(5/19) ・自治体、地域団体向けセミナー(7/1:47名、7/24:52名) 移住者受入モデル地域における取り組みの推進 3地域(氷見市(久目・論田・熊無)、富山市(八尾・山田))において、移住者受入促進計画に基づく取り組みを推進	概ね順調	・今年度の取り組みで得られた知見をもとにチェック形式で確認できるマニュアルを作成、共有することで、市町村や地域団体が自分達でプロジェクトを実施できる仕組みを作る ・モデル地域における取組成果を他の地域にも共有
⑥ 情報発信の促進	6/21「富山暮らし・しごとフェア」の開催 14市町出展、174組212名来場(R7同規模フェア:149組195名) 今回新たに、県の関係人口に係る取り組みや「寿司といえば、富山」をPR 県地域おこし協力隊によるSNSを通じた地方移住の情報発信 市町村空き家バンク等と連携し、空き家や古民家の情報を戦略的に発信(フォロー数:約1万人、実際に空き家の売却につなげる)	概ね順調	・10/31北陸3県移住フェア(大阪) ・11/7第2回富山暮らし・しごとフェア(東京) ・12/20北陸新幹線沿線5県移住フェア(東京) ・2/6北陸3県移住フェア(東京) ・引き続き、市町村等と連携し、空き家情報をはじめ富山で暮らすことの魅力を発信

連携事項名 災害対応・危機管理体制の連携・強化

県担当課:防災課

◎ R8年度の取組み事項

- 1 **<ワンチーム>** 国・県・市町村・関係機関の連携強化
 - ・「チームとやま」体制に基づく相互応援、県リエゾンの派遣
 - ・住家の被害認定調査等の研修会の県・市町村合同の開催
 - ・地震被害想定・津波シミュレーション調査の検討
 - ・避難行動及び避難生活のあり方検討PTでの継続協議
- 2 **<人づくり>** 災害対応力の向上
 - ・防災リーダーの育成(防災士の養成研修(市町村推薦枠に加え、学生枠の創設)やスキルアップ研修の充実、自主防災組織の取組みへの支援拡充等)
- 3 **<DX>** 災害対応の迅速化・効率化と情報の一元化
 - ・DXを活用した円滑な避難所運営の検討(総合防災訓練での実証等)
- 4 **<高品質>** 避難所の生活環境の改善
 - ・TKBS(トイレ、キッチン、ベッド、シャワー)等の環境整備
 - ・被災時の生活用水確保に向け市町村の防災井戸整備を支援
 - ・県災害ケースマネジメント協議会の活動体制の確保、市町村との連携の強化
 - ・避難行動及び避難生活のあり方検討PTでの継続協議
- 5 **<官民連携>** 民間・県民参加の災害対応の促進
 - ・官民協働事業レビューを踏まえた、避難場所となる民間事業所への資機材整備等の補助
 - ・協定締結事業者との連携強化(総合防災訓練への参加等)、民間が運営するネットワークへの参画
 - ・民間における災害対応車両の導入支援

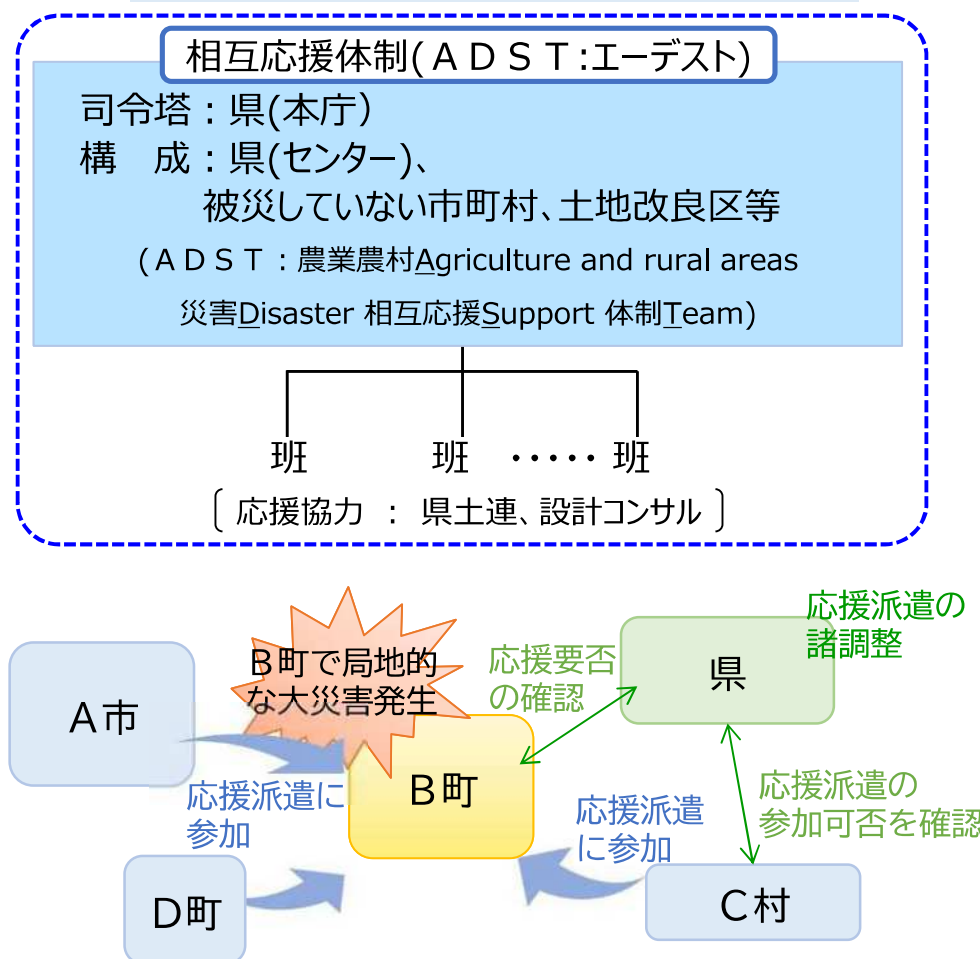
◎ R8年度の取り組みの進捗状況

項目	進捗	評価	今後の取り組み等
1. <ワンチーム> 国・県・市町村・関係機関 の連携強化	・気象防災ワークショップ(5/19) ・住家被害認定調査研修会(5/27) ・「避難行動のあり方」検討PT会議(7/3)	概ね 順調	・県総合防災訓練(10/10)の実施(会場:富山市、立山町) ・各市町村の防災訓練へのリエゾン職員の参加(随時) ・国民保護共同図上訓練(11/13)の実施 ・罹災証明書の発行に係る研修会の開催(秋頃) ・PTを今後3回開催予定 ・地震被害想定・津波シミュレーション調査の検討(年度内公表予定)
2. <人づくり> 災害対応力の向上	・自主防災組織リーダー研修(7/11)(280名) ・防災士養成研修第1回(8/1~2)(120名) ・防災士養成研修学生枠定員に達し、募集終了	概ね 順調	・防災士養成研修の開催(第2回~第6回)(各回120名) ・防災士スキルアップ研修の開催(4回 10月~12月)(各回100名) ・地区防災計画策定研修会(全体会1回(9/19)、ワークショップ4回(10月~2月))
3. <DX> 災害対応の迅速化・効率 化と情報の一元化	・先進自治体の事例研究等	概ね 順調	・県総合防災訓練における避難所受付システムの実証及びドローンによる物資搬送の実施
4. <高品質> 避難所の生活環境の改 善	・富山県災害ケースマネジメント協議会の開催(7/3) ・防災井戸整備補助制度における対象拡大(新設井戸)	概ね 順調	・TKBS等の環境整備の促進 ・富山県災害ケースマネジメント協議会を今後3回開催予定 ・防災井戸整備費補助事業の円滑な実施
5. <官民連携> 民間・県民参加の災害対 応の促進	・避難場所となる民間事業所への資機材整備等の補助制度の創設 ・「災害派遣トイレネットワーク」に参画(4/21) ・災害対応車両導入補助制度創設(交付決定済)	概ね 順調	・自主防災組織や防災士を通じた資機材整備等の補助制度の活用促進 ・民間団体等との災害時応援協定の締結、県総合防災訓練を通じた連携強化

農業農村連携応援体制(ADST)について

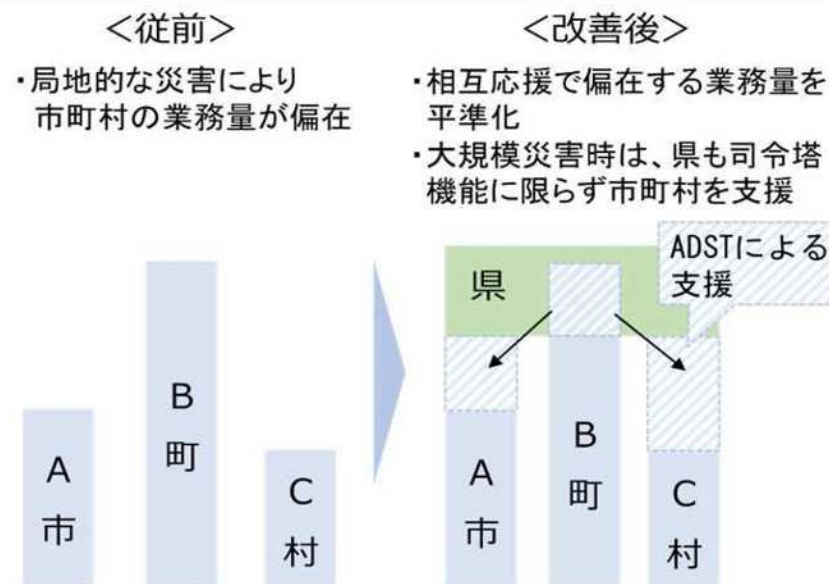
- 大規模災害時に「チームとやま」のスキームを活用し、県と被災していない市町村や土地改良区等が一体となって相互に連携応援する体制を構築するため、関係機関による協議会を設立し8月5日から運用開始。
- また、平時からの技術力向上として、4月から農林振興センターに相談窓口を設置するとともに、9月以降に実践的な合同研修を開催する。

県が司令塔となる相互応援体制ADST



「ワンチーム」での災害応援や合同研修による効果

全体	災害対応能力の強化、人材育成、関係機関との連携強化
県	迅速に被害の全容を把握できる
市町村	大規模災害時の現地調査のマンパワー不足を解消できる
改良区	管理する土地改良施設の被害把握と早期復旧に繋がる



「ワンチームとやま」連携推進本部 令和8年度連携推進項目のWG取り組み状況について

連携項目名	主な検討事項	担当部局	WG開催状況
鳥獣被害防止対策	・クマ被害防止対策のためのゾーニング設定 ・柿の木など誘引物の除去の意識醸成 ・クマ捕獲等の手当に関するあり方 ・捕獲の担い手の確保・養成	生活環境文化部	○第1回WG(4/13) ・各市町村における鳥獣被害の実施状況・課題について報告 ・R8連携事項の協議、意見交換、連携事項の決定 ○第2回WG(7/31) ・各取組み事項の内容の情報共有 ・今後の取り組みに向け市町村の意見を徴収
人口減少対応 (関係人口の拡大・深化、移住・定住施策)	・移住希望者と地域の効果的なマッチング ・地域おこし協力隊の受入・連携促進 ・ふるさと住民登録制度を見据えた連携事項の確認 ・関係人口・移住検討者等を呼び込むための事業の実施 ・地域における受入体制の整備 ・情報発信の促進	知事政策局 地方創生局	○第1回WG(4/14) ・県における関係人口・移住施策の共有 ・R8取組み事項の協議、意見交換 ○第2回(8/6) ・地域おこし協力隊取組事例紹介 ・関係人口・移住検討者等を呼び込むための事業進捗共有 ・ふるさと住民登録制度開始に向けた施策の方向性協議
災害対応・危機管理体制の連携・強化	①防災意識の普及啓発の強化 ②課題に対する対応策の検討 ③県及び市町村の連携方法の確認・強化 ④県及び市町村の取組みの情報共有	危機管理局	○第1回WG(4/14) ○第2回WG(8/19) 県事業の取組状況の説明及び意見交換を実施

「令和8年 熊本地震」に対する支援対応状況

■地震の概要及び被害について

(1)地震の概要

①発生日時 **令和8年7月28日 16時27分**、②最大震度 **震度7 熊本県:宇城市、氷川町** ③マグニチュード7.1(暫定値)

(2)主な被害状況等(熊本県災害対策本部:8月25日16:00現在)

死者

38名

負傷者(※分類未確定含む)

364名

住家被害

39,247棟

対口支援先
(富山県)

熊本県宇城市

■富山県の主な対応状況等

7/28 発災 → **7/31対口支援派遣決定** → 8/2第1班派遣 → **8/3支援連絡会議** → 8/4チームとやま派遣決定(第2班～)

①体制整備

- ・情報収集(随時)
- ・対口支援の決定及び情報共有会議(7/31)
- ・支援連絡会議(8/3)

②人的支援

- ・罹災証明支援、避難所運営支援等(県・市町村合同チーム)
- ・警ら活動、被災者支援、交通整理等(県警)

③医療等支援

- ・DMAT3隊
- ・DMATコーディネーションチーム3隊

④物的支援

- ・水循環型シャワー1台
- ・水循環型手洗いスタンド 2台
- ・アルファ化米 8,500食

⑤その他

- ・義援金

令和 8 年熊本地震における対応について

1 地震の概要及び被害について

(1)地震の概要

- ①発生日時 令和8年7月28日 16時27分
- ②最大震度 震度7 熊本県:宇城市、氷川町
- ③マグニチュード7.1(暫定値)
- ④発生場所:熊本県熊本地方深さ16km(暫定値)

(2)主な被害状況等(熊本県災害対策本部:8月25日16:00現在、宇城市災害対策本部:8月26日8:30現在)

【人的被害及び住家被害(※判明分)】

○人的被害 402名(うち死亡38名) うち宇城市 死亡4名

○住家被害 39,247棟(うち全壊 1,692/大規模半壊 210/半壊 2,588/一部破損 23,722/
分類未確定11,035)

うち宇城市 全壊200、半壊800、一部破損3,600

◆ 総括支援・対口支援の状況(8月26日時点)

総務省、全国知事会、被災地域ブロック幹事県等で構成する応援職員確保調整本部にて、
以下のとおり、総括支援・対口支援に係る受援応援の組合せを決定

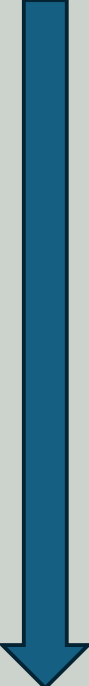
総括支援	受援自治体	応援自治体
	熊本市	東京都
	八代市	大分県
	宇土市	福岡県
	宇城市	福岡市
	氷川町	佐賀県

対口支援	受援団体	応援自治体
	熊本市	東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、神奈川県、山梨県、横浜市、相模原市
	八代市	大分県、福井県、京都府、大阪府、岡山県、山口県、長崎県、鹿児島県、沖縄県、さいたま市、名古屋市、京都市、大阪市、北九州市
	宇土市	福岡県、滋賀県、京都府、徳島県、香川県
	宇城市	福岡市、富山県、石川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、長崎県、宮崎県、川崎市、静岡市、堺市、神戸市、仙台市、新潟市
	美里町	長崎県
	御船町	宮城県、山形県、福島県、新潟県
	嘉島町	北海道、青森県、岩手県、秋田県
	氷川町	佐賀県、鳥取県、島根県、広島県、愛媛県、高知県、浜松市、広島市

※富山県では、総務省からの派遣要請(7/31)を受け、
令和 8 年 8 月 2 日(日)からの県職員を熊本県宇城市へ派遣を決定。
活動内容は、罹災証明支援等(8/3から活動開始)。



1 体制整備

	全体	危機管理局及び経営管理部	関係部局
7/28 ～30 	「令和8年熊本地震」発生 (16:27)	■28日以降の警戒体制等 ○職員の安否確認等含む情報収集(随時) ・28日夜間は危管局職員を2名増員 ○緊急消防援助隊 消防庁から本県への出動要請等はない ○災害マネジメント総括支援員 総務省から本県への派遣依頼はない ・29日以降は、通常宿直体制へ移行 ※なお、1～2日(週末)の日中、危管局職員を2名増員 □その他、随時検討等 ・対口支援による総務省調整本部や全国知事会からの 応援要請を想定した情報収集等 ・民間団体との災害時応援協定(ネットワーク)に基づく支援 (トイレトラックや水循環型シャワー等の貸出等)の可否を検討	□厚生部 震度7により、 「DMAT」自動待機 □各部局 発災直後から項目ご とのTODOの確認、 情報収集等 □[厚生部] DHEAT(災害時健康 危機管理支援チーム) 及び保健師チームの 派遣準備
7/31	情報共有会議の開催	■令和8年熊本地震に関する情報共有会議の開催(14:30) ※非公開	
8/3	支援連絡会議の開催	■令和8年熊本地震にかかる支援連絡会議の開催(14:00)	
	県HPにまとめサイト設置	■県HPに令和以8年熊本地震にかかるまとめサイト設置	

2 人的支援

(1)対口支援 【危機管理局・経営管理部・地方創生局】

日 時	内 容	
7/31(金)	総務省より、宇城市に対する対口支援団体として富山県を決定	
8/2(日)	令和8年熊本地震に伴う職員派遣に係る出発式(9:30～) 第1班として県職員5名を熊本県へ派遣(派遣期間:8月2日～8日)	
8/5(水)	大規模災害時相互応援協定「チームとやま」のスキームに則り、県内市町村職員の派遣決定	
	派遣期間(予定含む)	職員内訳(予定含む)
第1班	8月2日～8日	県5名
第2班	8月7日～13日	県2名、富山市1名、黒部市1名、砺波市1名
第3班	8月12日～18日	県1名、富山市1名、高岡市1名、氷見市1名、滑川市1名
第4班	8月17日～23日	県2名、南砺市1名、上市町1名、入善町1名
第5班	8月22日～28日	県2名、魚津市1名、舟橋村1名、朝日町1名
第6班	8月27日～9月2日	県2名、小矢部市1名、射水市1名、立山町1名

参考資料1

未来へつなぐ行政サービスのあり方検討会について

- 人口減少・少子高齢化やデジタル技術の進展など社会経済情勢の変化
- 多様化・複雑化する県民ニーズへの対応

**人口減少社会等へ適応するため、
持続可能な行政サービスのあり方を未来志向で検討**

「未来へつなぐ行政サービスのあり方検討会」を設置 (R7.5.30)

○検討の方向性と内容

- ◆ **将来的な人口減少等を念頭に**、10年先（2035年）のあるべき姿を描き、今から取り組むべきこと、中長期的に検討すべきこと等を**バックキャストで幅広く議論**
- ◆ **市町村や民間等も含めた広域的な視点**で、県全体を俯瞰し、**行政組織の枠組みにとらわれない議論**
- ◆ **限られた人的・財政的資源の有効活用**など、**ソフト・ハード両面**において**行政サービスのあり方・方向性を議論**

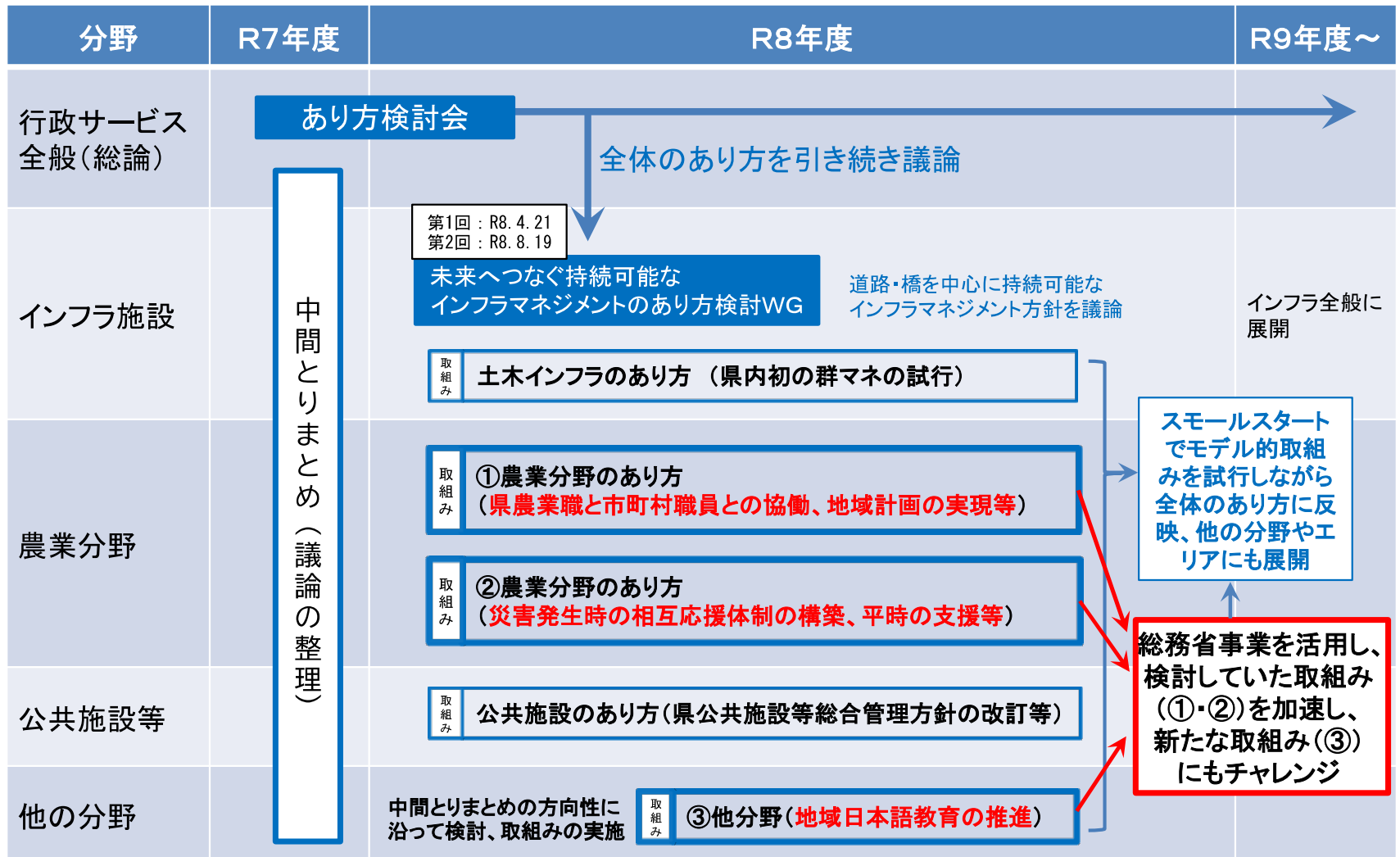
○R7年度の検討状況

- 5/30 第1回検討会（本県の現状、議論の方向性）
- 7/31 第2回検討会（公共施設、インフラ施設）
- 10/10 第3回検討会（公共インフラ施設、農業分野）
- 2/6 第4回検討会（中間とりまとめ素案）
- 3/24 **検討会中間とりまとめの公表**

○R8年度の検討状況

- 5/1 第5回検討会（中間とりまとめ概要、R⑧取り組み）
- ※令和8年度も複数回検討会を開催予定

検討会中間とりまとめを受けた今後の取組み



総務省「広域連携モデル構築事業」採択事業(概要)

① 地域農業経営基盤強化促進計画に関する事務 (氷見市と連携) 【農業技術課】

- ・ 氷見市庁舎に高岡農林振興センターのサテライトデスクを設置
- ・ 週に数日、県普及指導員が駐在し、市との連携による地域計画のブラッシュアップ等を実施（現地指導の効率化）

<事業の成果及び進捗状況>

- ✓ 氷見サテライトデスクを開設【5/26】
- ✓ 氷見サテライトデスクの来訪者数：R8.7月末現在 延べ24人（参考：同期間内来訪者数/高岡班11人・射水班7人・小矢部班0人）
- ✓ 氷見サテライトデスクに係る評価検討会（中間評価）開催予定【9/1】

② 農業用施設等における災害対応に関する事務 (15市町村と連携) 【農村整備課】

- ・ 災害発生時の相互応援体制を構築（被災市町村を、被災していない市町村・県などが支援）
- ・ 平時における合同研修、市町村への技術支援など

<事業の成果及び進捗状況>

- ✓ 農業農村連携応援体制（ADST：エーデスト）の設立総会を開催【8/5】
- ✓ 県・市町村などによる意見交換会の開催【第1回：5/27、第2回：7/2】
- ✓ 農業農村被災状況共有システムの開発（8月～）

③ 地域日本語教育の推進に関する事務 (15市町村と連携) 【多文化共生推進室国際課】

- ・ 初期日本語教室体験会（オンライン教室）の実施
- ・ 外国人住民の学習ニーズや課題の調査など

<事業の成果及び進捗状況>

- ✓ 富山県地域日本語教育推進会議の開催【第1回：7/27】
- ✓ 初期日本語教室体験会の開催に向けた調整（8～10月開催予定）

未来へつなぐ持続可能なインフラマネジメントのあり方検討ワーキンググループ

趣旨・目的

持続可能なインフラマネジメントのあり方をテーマに、まずは道路・橋梁を中心にその方針について議論するもの

- ・限られた予算や人員の中で、激甚化・頻発化する自然災害や加速化するインフラ老朽化への対応が求められるなか、現在の行政サービス水準を将来に渡って維持し続けることが困難となっている。
- ・R7年度に実施したあり方検討会では、「新しいインフラを造るより今あるインフラを活かすことに方針転換すべき」や「インフラの量を縮減し、持続可能な省インフラ型社会への移行を推進すべき」との意見が大勢を占めた。

議論の方向性

- 多数の橋梁をどのように維持管理・更新していくべきなのか。
- インフラの将来像の「自分ごと化」を推進するためには、どうすればよいのか。

開催時期(予定)・議題(案)

4月21日 第1回WG ・富山県におけるインフラの現状と課題について
・WGでの議論の方向性

8月19日 第2回WG ・第1回ワーキンググループの振り返り
・橋の維持管理・更新の方向性
・インフラの「自分ごと化」企画について

(以下、予定)

10月24日 インフラ「自分ごと化」体験教室

R9年1月頃 第3回WG ・第2回WGの深掘り、10月開催のイベントの評価と今後の展開等

4月頃以降 第〇回WG ・検討のとりまとめ

未来へつなぐ持続可能なインフラマネジメントのあり方検討ワーキンググループ

第2回ワーキンググループでの議論

(1) 橋の維持管理・更新の方向性

今後、全ての橋を維持管理することは困難。これからは「新しくつくる」よりも、今あるものを上手に使っていくことが重要。橋の維持管理や更新の優先順位を考えていく指標として「健全性」と「重要性」を取り上げ、橋の維持管理や更新の方向性を未来志向で検討したい。

【委員からの主な意見】

- ・ 緊急輸送道路などの橋は絶対に止められない。大きなインフラと小さなインフラに分けて議論するべき。
- ・ 目標性能を定め、役割に応じた維持管理をするべき。
- ・ 誰でも自分に身近な橋は残したい。橋の優先順位をつけるときには十分に時間をかけた住民への丁寧な説明と納得が必要であり、大きな課題である。

(2) インフラ「自分ごと化」企画

小学生と保護者を対象とした体験教室を実施予定。

【委員からの主な意見】

- ・ 子供たちに楽しい任務を与えるなどゲーム性がほしい。
- ・ 子供が楽しむだけでなく、親も巻き込むような企画がほしい。
- ・ 今後も含めて、日頃からいかに広報するかが重要。
- ・ 将来の職業選択を見据え、先進技術等も紹介してはどうか。



県・市町村連携(採用関係・DX支援)

「とやま公務員仕事研究フェア」の開催

富山県内で行政サービスの担い手として働く魅力を効果的にアピールするため、**県・市町村合同でイベント**を開催

日 時：令和8年8月11日（火・祝）13時～16時
出展団体：県、15市町村、2一部事務組合 計18団体
来場者数：260人、参加者アンケートでは96%の方が
「満足」「概ね満足」と回答



市町村の採用等に関する情報発信

各市町村の採用、**インターン情報**を県ホームページで**集約・一元化**し、情報発信

▶<https://www.pref.toyama.jp/140403/shityousonsyokuinsaiyou.html>

市町村のデジタル人材確保支援

市町村の自治体基幹系システム標準化後の運用等を伴走支援するため、**県において、市町村に巡回配置する専門的なデジタル人材を確保** ▶現在、確保に向けて調整中

DX・市町村支援統括専門官の配置

県のDX全般に関する企画・立案への指導および市町村の**DXを統括的に助言・支援する人材を配置**

▶**前田みゆき氏**(民間企業で国・自治体の情報システムの企画・導入、デジタル庁で業務システム標準化等に携わる。富山県出身)が本年4月に着任し、システム標準化やマイナンバー活用等に関する市町村からの相談に対応するなど助言を実施

富山ー台北便の定期便運航再開について

参考資料3

1. 運航会社 チャイナエアライン
2. 発表日 令和8年6月29日（月）
3. 運航開始日 令和8年8月20日（木）

4. 利用促進についてのお願い

6年半ぶりに運航を再開した富山ー台北便は、平成24年4月の就航以来、ビジネスや観光面など台湾と富山の交流を支えている重要な路線です。

各市町村におかれましても、①各種交流等での積極的なご活用、②広報媒体での住民の皆さんへの周知、③関係団体等への利用促進の働きかけをお願いいたします。

運航ダイヤ

<月曜日>

CI171 富山発 12:15 ⇒ 台北着 14:40

CI170 台北発 7:15 ⇒ 富山着 11:15

<木曜日>

CI171 富山発 18:55 ⇒ 台北着 21:20

CI170 台北発 13:55 ⇒ 富山着 17:55

※ 時間は現地時間（日本と台湾の時差－1時間：日本の方が台湾よりも1時間進んでいます。）

※ 使用機材：A321neo（180席）